

令和4年（2022年）7月4日（月曜日）

水辺再生の手法学ぶ

台湾国発会 GW三島を視察

台湾の国家発展委員 3日、三島市のNPO 三島（GW三島）を視察した。人材育成や地域活性化を目的に、30年間わたって水辺自然環境の再生と復活を進めてきたGW三島の活動や手法を学んだ。

同委員会は7月から、地方創生などの分野で日本国内の関係機関や企業と交流している。その一つとして、台湾の大学などでビジネス

の活動や手法を学んだ。同委員会は7月から、地方創生などの分野で日本国内の関係機関や企業と交流している。その一つとして、台湾の大学などでビジネス

的見地からのNPO 国に行っている」と述べてた。

活動などについて数回講演し、著作も発行しているGW三島の渡辺専務を訪ねた。国発会副主任委員の高仙桂さんから10人が、三島市芝本町のGW三島事務局で、渡辺専務と懇談した。渡辺専務は「かつて三島市は、社会をつくる市民、行政、企業がバラバラだった。英国のグラウンドワーク活動を知り、まず現場で動くことから始めた。実際グラウンドワーク台湾をつくらうとする人たちが英



高副主任委員（奥左から2人目）らにGW三島の活動を説明する渡辺専務（右）
三島市芝本町